

地震

●地震への備え

地震などの被害を最小限に抑えるには、自助（じじょ）、共助（きょうじょ）、公助（こうじょ）、それぞれが役割を果たしていくことが大切です。

「自助」…自分の身を自分の努力によって守ること

「共助」…身近な人たちがお互いに助け合うこと

「公助」…県、市などの行政機関による救助、援助のこと

地震による犠牲者の多くは、地震発生直後の建物倒壊や家具等の転倒によるものです。また、地震発生後に津波が短時間で襲ってくる場合もあります。

行政機関による「公助」は、地震直後の皆さん1人1人に対する初期対応に限界があります。

このため、地震直後の災害から身を守るためには、自ら守る「自助」はもちろん、近隣の人たちが助け合う「共助」が極めて重要です。

いざというときに適切な行動が出来るように日頃からよく考えておきましょう

●家庭での防災会議

地震は、いつ起こるか分からないことから、時間帯や誰が在宅してるかなど、様々なケースを想定し、話し合っておきましょう。

- 家中での安全な場所
- 避難路、避難場所の確認
- 避難するとき、誰が何をもち出すかの役割分担
- 家族がバラバラに離れたときの連絡方法
- 災害時の必需品の備え など

●家具等の転倒防止、家の耐震対策など安全を確保

地震が発生すると、家具等の転倒や家屋の倒壊により下敷きになって、ケガをしたり命が失われたりすることがあります。このため、家具等を金具で固定したり家を地震から強くすることが、自分自身や家族の命を守るためにとても重要です。

- 家具等の転倒防止
- ガラス等の飛散防止
- 家屋の倒壊防止 など

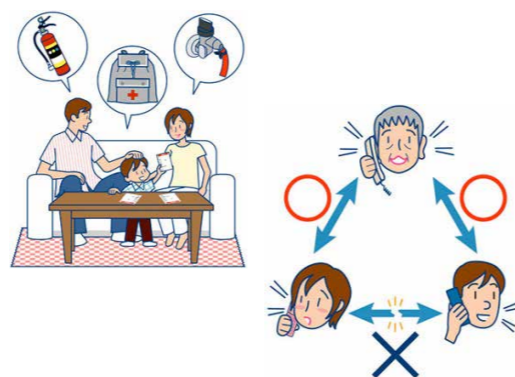
●食料、飲料水等の備蓄、非常持出品の備え

地震の発生後は、道路の寸断などにより救助や支援活動が満足にできないことがあります。このため、救助や支援が受けられるまでの食料・飲料水（最低3日分）は、各家庭で蓄えておきましょう。

また、避難場所への移動や避難場所での生活に必要なもの、ケガの応急手当をするための救急薬品なども準備しておきましょう。



【気象庁震度階級関連解説表から】



出典：「総務省：消防庁マニュアル」

地震が発生したときには、落ち着いて身の安全を確保しましょう！！

■まずは身の安全を確保する

突然大きな揺れに襲われたときは、まずは自分の身を安全に守るように心掛けましょう。

棚やテレビが倒れてきたり、棚に載せてあるものが落ちてきたりするので、離れて揺れがおさまるのを待ちましょう。



■あわてた行動はケガのもと

あわてて行動すると、転倒した家具類、飛び散ったガラスの破片等でケガをする恐れがあります。

小さな揺れするとき、または揺れがおさまった後に、窓や戸を開け、出口を確保しましょう。



■初期消火

大きな揺れるときは、机の下などに身を伏せ、揺れがおさまるのを待ってから火を消しましょう。

火災になったときは、周りの人に大きな声で助けを求めるとともに、手近にある消火器などで初期消火をしましょう。



■正しい情報を集める

災害が発生したときには、デマが飛び交いがちです。噂に惑わされず、テレビ、ラジオ等からの情報に注意し、正しい状況の把握に努めましょう。

市役所からの避難情報がなくても自身の周辺に危険が迫っていると判断したときには、ためらうことなく避難しましょう。



出典：「総務省：消防庁マニュアル」

■危険個所に近づかない

住宅地の路地にあるブロック塀や石塀は、強い揺れで倒れる危険があります。揺れを感じたら塀から離れましょう。

電柱や自動販売機も倒れてくる可能性がありますので、そばから離れましょう。



■避難の前に安全確認

外に出るときも周囲の確認をしましょう。ガラスや看板等が落ちてくる可能性があります。

避難するときには、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。

我が家の安全を確認後、近所にも声を掛けて安否を確認しましょう。



■救護活動に協力する(共助)

建物の倒壊や落下物などの下敷きになった人がいたら、意識があるかどうかを確認し、励ましましょう。

救出活動には危険が伴う場合があるので、近所の人たちや自主防災組織の人たちと協力して行いましょう。



地域の防災訓練へ積極的に参加しましょう

地域によっては、災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための「自主防災組織」が作られています。

「自主防災組織」は、地域内の安全点検や防災訓練の実施など災害に対する備えを行い、また、地震が発生したときには、初期消火活動、被害者の救出・救助と言った活動を行うなど、非常に重要な役割を担っています。

地域の皆さんが助け合って災害から身を守るよう、日頃から地域で行われる防災訓練へ積極的に参加しましょう。

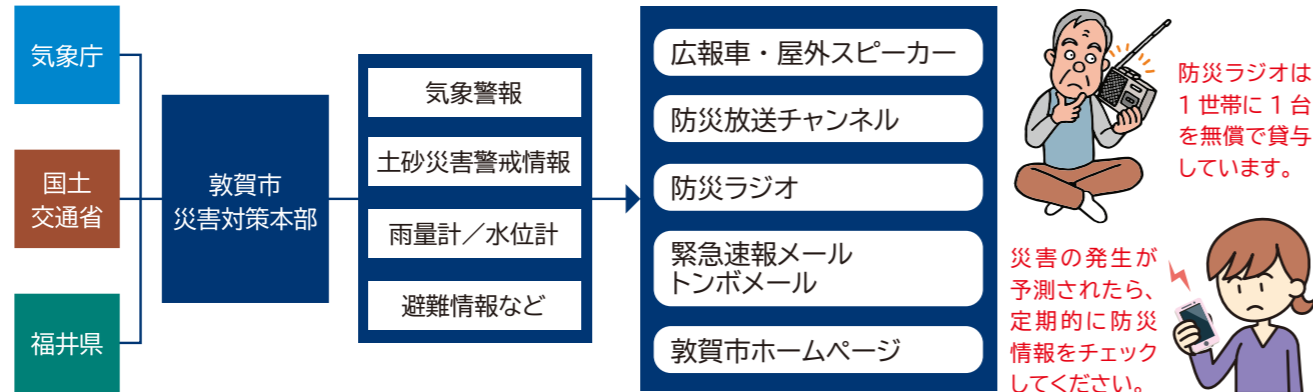


敦賀市防災訓練の様子

防災情報を入手する

災害情報の伝達経路

災害の発生が予測される場合、以下のように災害情報が伝達されます。
市民の皆さんは、テレビ・ラジオ・携帯電話・インターネット等を活用して、積極的に情報収集をしてください。



防災情報の入手

敦賀市防災メール（トンボメール） **事前登録必要**

避難指示などの災害情報や気象情報などをお知らせします。
市外・県外にいても利用することができます。

bousai.tsuruga-city@raidan2.ktaiwork.jp

上記メールアドレスに空メールを送信
または、右のQRコードから登録



敦賀市ホームページ

<https://www.city.tsuruga.lg.jp/index.html>
トップページに緊急情報を表示します。



i-ame メール（福井県河川・砂防総合情報メール） **事前登録必要**

<http://i-ame.ame.pref.fukui.lg.jp/>
河川や土砂災害の危険情報をリアルタイムでお知らせします。



福井県水害ハザード情報

<http://sabogis.pref.fukui.jp/FukuiF.I/login.asp>

大雨等により河川が氾濫した場合に浸水が想定される浸水想定区域や過去の浸水実績、浸水写真、避難所等の情報を掲載した地図を公開します。



防災情報伝達システム（屋外スピーカー）

災害の状況や敦賀市からの避難情報などを、CATVネットワーク及びWiMAXネットワークによりお知らせするシステムです。

緊急速報メール（エリアメール）

敦賀市では、携帯電話のサービス「緊急速報メール」を利用して、災害・避難情報などの情報を配信します。（詳しくは携帯電話各社のホームページ等を確認してください）

防災放送チャンネル（092ch）

テレビを「地デジ」に切り替えて、「092」チャンネルに合わせてください。

- 敦賀市からの緊急放送(避難情報など)
- 気象情報(気象警報、竜巻注意情報など)
- 防災情報(自然災害、原子力災害)

敦賀市防災情報配信（ツイッター）

https://twitter.com/tonbo_tsuruga
敦賀市の防災情報用ツイッターアカウント

敦賀市（公式）アカウント
@tonbo_tsuruga
または、右のQRコードから登録



Yahoo! 防災速報 **事前登録必要**

https://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/news_from_division/shiminseika_tsu_bu/kikikanritaisaku_ka/06900002020092.html

緊急地震速報や豪雨予測などをお知らせします。



福井県防災ネット

<https://www.bousai.pref.fukui.lg.jp/dis.portal/index.html>

県内の雨量情報、避難情報、開設避難所、警戒体制、道路規制情報、その他情報を表示します。



福井県河川・砂防総合情報

<http://ame.pref.fukui.jp/>

県内の河川・砂防に関する観測情報、洪水予報、気象情報、土砂災害警戒情報(補足情報)などを表示します。



警戒レベルと避難行動を知る

警戒レベルと避難行動

警戒レベル	皆さんがとるべき行動	市から発令する避難情報等
警戒レベル5 命の危険 直ちに 安全確保	災害が発生又は切迫しています。命の危険があるため直ちに安全確保しましょう。	緊急安全確保 必ず発令されるものではありません
<警戒レベル4までに必ず避難>		
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	災害のおそれが高い状況です。危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	災害のおそれがある状況です。危険な場所から高齢者等は避難を始めましょう。	高齢者等避難*
警戒レベル2 自らの避難行動を確認	自宅等の災害リスク、避難場所・経路、避難のタイミング、避難情報の把握手段を再確認するなど、避難に備えましょう。	
警戒レベル1 災害への心構えを高めましょう。		

*高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。

災害用伝言ダイヤル171 / Web171

災害時は電話がつながりにくくなります。家族や知人の安否確認には、「災害用伝言ダイヤル171」「災害用伝言板Web171」を利用しましょう。

録音 伝言の録音方法 「171」▶「1」▶市外局番からダイヤル(XXXX)XX-XXXX ▶伝言を登録する

再生 伝言の再生方法 「171」▶「2」▶市外局番からダイヤル(XXXX)XX-XXXX ▶伝言を聞く

被災地の方 ご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号

被災地以外の方 連絡を取りたい被災地の方の電話番号

※携帯電話による利用もできます。詳細は

NTT 西日本 災害用伝言ダイヤルホームページ
<https://www.ntt-west.co.jp/corporate/disa.html>

インターネットでのお手続きはこちらから
<https://www.web171.jp>



地域における防災対策

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織をいいます。

大規模な災害のときは、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない場合があります。そんなときに力を発揮するのが、自主防災組織です。隣近所と力を合わせ、防災活動を行いましょう。

1 情報の収集・伝達

公的防災機関と連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達します。また、地域の被害状況や火災の発生状況を取りまとめます。



2 救出活動

負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動を行います。ただし、救出作業は危険を伴う場合がありますので、二次災害に十分注意してください。



3 初期消火活動

出火防止のための活動や初期消火活動を行います。ただし、消防署や消防団が到着するまでの間、火災の拡大延焼を防ぐのが基本です。決して無理はしないように。



4 医療救護活動

大災害時には多数の負傷者が出るため、すぐに医師による治療が受けられるとは限りません。その場合は応急手当を行い、救護所へ搬送しましょう。



5 避難誘導

住民を避難所などの安全な場所に誘導します。避難経路は災害の状況により変化しますので、公的防災機関と連絡を取り合うなど、正確な情報に基づき誘導を。



敦賀市出前講座

敦賀市では、防災に関する出前講座を実施しています。

担当職員が講師となり、皆さんのもとへ出向き、地域で、学校で、子ども会・老人会・婦人会等の団体で、皆さんが聞きたい内容のお話をしています。

お気軽にご利用ください。

講座名	内容
防災まちづくり講座	・家庭や地域でできる災害への備えについて ・敦賀市の取り組みについて
避難所運営ゲーム（HUG）	・避難所の運営を模擬体験できるゲーム
原子力防災と放射線 （福井大学原子力工学研究所との連携講座）	・被ばく、防護に関する基礎知識について ・敦賀市の原子力防災対策について

お問合せ 総務課 ☎ 22-8101

敦賀市地域防災マップ作成支援事業

地域防災マップとは、地域（区など）ごとに災害の危険性が高い場所、過去に災害が起こった箇所、避難場所、避難経路などを地図に表したものです。地域住民が、自宅周辺の災害情報や災害時の避難目標、避難のタイミングなどを確認、共有するためのもので、住民主体で作成します。

また、地域防災マップの作成を通じて、自分たちの地域を改めて知ることや地域の中での防災情報を共有、防災の関心を高めること等ができ、地域の防災力の向上につながります。

地域防災マップの作成又は更新を希望する場合は危機管理対策課までお問い合わせください。

●作成過程

(1) 全体説明会

各区代表の方を集めて全体説明会を行い、マップ作成のイメージを掴んでいただきます。また、マップを見ながらワークショップで簡単な演習を行い、作成の方法を確認します。

(2) 各区でワークショップ

全体説明会でを行ったワークショップを各区で行います。各区の地図を使って災害情報や危険箇所、自宅からの避難経路などを考えて地図に記入していきます。

(3) 各区でまち歩き

書き込んだマップを持って実際に歩いて確認し、気付いたことを更に取り込んだり、避難するタイミングを考えたりします。

(4) マップに記載する内容の最終確認

これまで話し合った内容を確認し、配布用に仕上げます。



●各地域（区など）の地域防災マップ

各地域（区など）が作成した地域防災マップを敦賀市のホームページで公開しています。なお、公開に同意していただいた地区のみ掲載しています。

敦賀市 地域防災マップ 検索

災害ボランティア活動

大規模災害が発生すると全国から災害ボランティアが被災地に集まり、復興のための大きな助けとなっています。敦賀市社会福祉協議会では、平時から災害ボランティアの登録を受け付けています。災害ボランティアに関心のある方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

お問合せ 敦賀市社会福祉協議会 ☎ 22-3133